

52 摂南大学

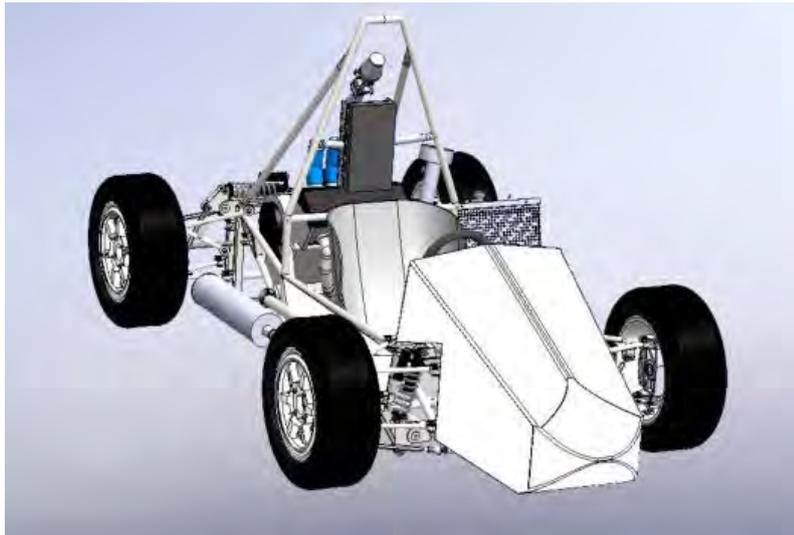
Setsunan University

摂南大学全学フォーミュラプロジェクト

S-Racing

<http://www.setsunan.ac.jp/~s-racing/>

初完走



今回の総合結果・部門賞

●総合39位

Profile チーム紹介・今までの活動

2010年大会から参戦し、本大会で6回目の参戦となりました。昨年度初めて全車検を通過することができましたが、エンデュランス走行を行なうことはできませんでした。そこで今年度は全種目完走と目標タイムの達成をめざして活動をしてきました。

Team-member チームメンバー

馬場 大河 (CP)

堀江 昌朗 (FA)、栗田 寿基 (FA)、橋本 正治 (FA)
里 将多、高橋 颯志、有吉 俊二、北木 裕梧、
黄 晓羽、竹内 大、天神 林佑、水野 修平、
大平 悠矢、奥田 尚樹、竹原 伸輔、塚本 佑汰、
石伏 迅汰、岩崎 和也、楠本 篤史、芝田 雄介、
杉山 晃司、馬場 玲臣、前川 佑麻、丸谷 歩夢、
山口 遼馬、山田 啓太郎、若山 元希

Presentation

プレゼンテーション

私は昨年度車検を通過した経験から昨年度マシンを元に、更に基本性能の向上をめざすことを基本コンセプトとしてマシンの設計、製作を行ないました。マシンの設計を12月中旬に終わらせ、冬休みから春休みにかけて加工を行ない、3月中旬にシェイクダウンを行なうことができました。そこまでは予定どおりに物事を進めることができていましたが、その後走行を重ねる毎にさまざまな不具合が発生し、作り直しに多くの時間が取られたことにより思っていたほど大会までに走行時間を確保することができませんでした。しかし例年以上の走行を重ねることにより自分たちが抱えている問題点や良い点をより明確にして大会にのぞめたのではないかと思います。

大会ではアクセラレーションで練習走行時のタイムが出せればという点や、スキッドパッドでの走行を行なえればといった悔やまれる部分はありましたが、ある程度今年度自分たちが行ってきたことの成果を残せたのではないかと思います。

まだまだマシンとして課題は山積みなので、今後はより基本に立ち返り、完成度の高いマシンの設計を行なっていくと思います。

Participation report

参戦レポート

今年度は全種目完走と目標タイムの達成を目標に大会に臨みました。今年度は大会直前まで走行に時間を取ることができ、ある程度の自信を持って大会へ参加することができました。

大会ではデザイン、プレゼンテーションの点数が思ったほど伸びませんでしたが、コストで過去最高の22位を取る事ができ、課題は残ったものの一定程度の成果を残すことができました。

2日目以降に車検を行ないましたが、ブレーキテストで思った以上の時間を取られてしまい、車検合格が3日目の朝となってしまいました。その後アクセラレーションを行なったものの、マシンの調整不足により思ったとおりの結果を残せませんでした。しかし結果的に中止となってしまったオートクロスでは1分一桁台のタイムを残すことができ、次の日のエンデュランスではタイムは伸びませんが、初出走、初完走を達成しました。

結果的に目標を達成することはできませんでしたが、チームとして初めてエンデュランスを完走することができました。来年度は1秒、コンマ1秒を他の大学と争って行けるチーム、マシンを作っていくと思います。

最後になりましたが、1年間自分たちを応援し、支えて下さったスポンサー様、自動車技術会の皆様、学校関係者の皆様、ありがとうございました。今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い致します。

Sponsors スポンサーリスト

スズキ、NTN、ソリッドワークス・ジャパン、レイズ、
F.C.C.、VSN、摂南大学後援会、機撰会、深井製作所、
小松行永商店、日信工業、アルキャンハンズ、プロト、
富士精密、豊栄モーターズ

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/52.html>